

フキ指導案 チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校

特別支援教室ひまわり教室

コミュニケーション活動「脱出ゲーム『リモート伝言』」

1年生1名・4年生3名・5年生2名

本時のねらい

○オンラインのリモート通信上で適切なコミュニケーションを取ろうとすることができる。

本時のこだわり

- ◎Chromebook の Google Meet を使う事で、オンライン授業やオンラインゲームのボイスチャット等でのコミュニケーションの方法を体験させる。
- ◎LARP (Live Action Role Playing) 形式で進めることによって児童の意欲を高め、協力するための目的を明確にする。クリアした達成感も味わわせたい。

	学習活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)
導 入	1 今日の活動内容とルールを確認する。	○安全上カギをかけない脱出ゲームなので、ゲーム設定やゲームマスターの指示を守るよう確認させる。
	くめあて>☆ルールを守って協力しよう ☆よく聞いて、よく見よう	
	2 赤チームと青チームに分かれて自己紹介をする。	○児童の実態に応じて難易度が高い赤チームと低い青チームに分ける。
展 開	3 赤チームはめじろ教室、青チームはかわせみ教室へ移動してお宝を探す。	○LARP に意欲的に参加できるよう各教員がゲームマスターになる。
	お宝を発見したがカギが外れない！さらにトビラもカギがかかってしまった！（設定）	
	4 カギを2つ開けることを確認し、リモート協力ゲームを行う。 ① 映像なし音声あり 言葉で相手チームに暗号を伝えよう ② 映像あり音声なし ジェスチャーで相手チームに暗号を伝えよう	○市に要望したがネットワーク環境が改善されず、またともにM e e t が使用できないため、アクセスポイントを移動しておく。 ☆オンラインのリモート通信上で適切なコミュニケーションを取ろうとすることができる。
ま と め	5 クリアしたらランチルームに戻り、本時の振り返りをする。	○リモート通信でのコミュニケーションは対面するより情報量が少なく、難しいので工夫が必要である事を伝える。
	6 時間が余ったら『何でもバスケット』をする。	